

2024年3月30日

## 2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人バリアフリーセンター福祉ネットナナの家  
代表者・役職名 氏名 理事長 皆河える子

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

馬介在活動に向けた「ポニーの家」移転事業

## 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

理事長の息子が重複障がいと難病をもって生まれたことがきっかけとなり、障がいのあるひとたちが地域で幸せに暮らしていくことを願い、1998年に任意団体を設立、2001年より堅固な組織を目指してNPO法人にしました。会員数は約150名です。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

動物が人を癒す。特に馬の特性は、集団になじめないで不登校になりがち…など、生きづらさをかかえる子どもたちに前に進む力を生む可能性が高いと言われています。私たちは20年以上多摩川河川敷で乗馬会を行ってきましたが、もっと日常的に馬と子どもたちがかかわれる活動をと、4年前にポニーを2頭飼い始め、馬に乗らずに馬の特性を生かした馬介在活動を、専門家の協力で始めました。今回、ポニーの新しい居場所づくりに適した土地と家を借りられることとなり、この活動に本格的に取り組むことが可能になりました。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

## 1.【ポニーの家の移転】

今までのポニーの小屋を壊して庭を元に戻し貸主に返却し、新しいポニーの家で生かせる材料は活用します。ポニーの居場所を広げ、駐車スペース、ポニーの庭、下水道を完備し、子どもたちの居場所も確保します。

## 2.【地域との交流の活性化】

地域の子どもたちに向け、ポニーと触れ合う会を実施しながら、地域との交流を図っていきます。

## 3.【馬介在活動の発展】

東京都で初めてのEagala(イーガラ)の馬介在活動を本格的にスタートさせます。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT.実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME.事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT.事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

新しいポニーの家では餌やり、ブラッシング、小屋の掃除、ポニーの観察などの活動がしやすくなり、雨の日でも身近にポニーを観察し絵や粘土などのアート活動が可能になりました。庭にはポニーが引くワゴンも備え小さな子供が乗ることができるなどなど、馬とのかかわり方が多彩になっています。

地域の人たち対象に公園で開催している「ポニーとあそぼう会」には、学齢前のお子様の参加が多く、すてっぷの子どもたちが馬の世話の仕方やかかわり方を伝える役目を担っています。この交流が子どもたちの成長や自信をもつことにも繋がっており、今後さらに継続、発展させていきたいと考えています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

泊江市環境表彰制度で「ポニーの来る学校」の取り組みが優秀賞を受賞しました。ポニーを飼い始めてから、小学校や高齢者施設へのポニーの訪問を行っています。これからも地域との交流を深めていきたいと思えます。

移転によりポニーの居場所と子どもたちの活動スペースが拡充されました。ポニーの多頭で暮らす習性を考え、ポニーを飼育している他団体との合同の活動も行い、ポニーを現在の2頭からさらに増やすことも課題です。

尚、ポニーと子どもたちの関りをフォトブックにまとめて社会に発信していく計画も始まっています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。





